# ちょっといい話

第一五六号　勿忘草

五体満足に此の世に生を受ければ先ず神仏に感謝申し上げなくては失格です。目で物が見え、耳で音を聞き取れ、鼻で香りと呼吸を司り、口で物を食べ、話が出来ればこれ以上の事を望めばバチがあたりましょう。平成二十五年も滑り出し、当山の星祭祈祷會も終わり、「この地方に於いては」経済も昨年より上向き、天地の恵みが頂け、自然の災害も無く行けそうです。しかしながら世界はちがいます。一月早々激震が走る事件が発生いたしました。アルジェリアでイスラムの武装勢力に拉致された日本人が交渉する時間も与えられず簡単に殺害されました。一月二十四日の発表では十人の死亡が確認されました。国々の考え方、その違いを痛感いたしました。国の特殊部隊がすぐに突入すると言う事態は日本では考えられません。被害者は日本人が一番多く、諸外国で働く多くの日本人にとって大変ショックな出来事です。いずれにしても宗教を戦に使う事はあってはならない事です。

二月十五日には当山の七草法要が営まれます。善入院の御本尊一光三尊善光寺如来様は越後高田の城主光長公と妃、浄信院様の信仰の深さが機縁の御本尊様ですこの御本尊様がみえなければ善入院は存在しないのです。故に、当山で一番大切な法要です。我々の生命は何時何処で果てるか分かりません。徒桜今か今かと思う人よりもまさかと思う人が死に」です。一回でも多く佛縁に会い、阿弥陀様が城主の国、極楽〈往くべきです。神山に登る時、懺悔懺悔六根清浄と称え登った経験のある方もおみえになるでしょう。六根とは眼耳鼻舌身意のことです。清浄とは六根が連携し合い、正しく作用することです。」そして六根が清浄に成れば自然に神仏の御加護が頂けるように成ると言うことです。言いかえれば五体満足、心身の健康に繋がり衣食住」に於いて礼節が守れるということです。

忙しい事を理由に信仰を忘れ、信仰の道から外れてしまう方も多いかと思います。が忙しいと言う字を見て下さい。心という偏に亡くなるがくっ付いてできています。即ち、心が正常で無く壊れた状態を忙しいというのです。又、亡と心が結び付けば忘れるとなり、身体から気が老いて行く証です。人生は一気呵成に物事の処理をし、佛縁に会える機会をつくり出しましょう。心は生き物です。心を見失う事が無いように日々の暮らしを致しましょう。

二十五年二月一日

**善壽界善入院油掛地蔵尊**